

令和4年度 佐伯市教育行政重点施策



佐伯市教育委員会

令和4年3月

令和4年度教育行政の基本方針と重点施策

社会のグローバル化による新型コロナウイルスの世界的な流行、少子高齢化の進行による人口減少や経済的な格差の拡大など、社会情勢の変化にともない人々の生活様式も急速に変化しています。一方で、地方創生や学校における働き方改革、ICT機器の導入、大分空港の宇宙港化に係る宇宙教育の推進が求められています。また佐伯市においては、さいきオーガニック憲章（佐伯版SDGs）を目指し、持続可能な発展を支える教育を具現化させなければなりません。

佐伯市教育委員会では、次代を担う子どもたちが「生きる力」を育み、心豊かに成長していくことを願い、学校、家庭、地域が連携・協力し、市民一人ひとりが「学び」を推進する人材の育成を目指して、第2期佐伯市長期総合教育計画「さいき“まなび”プラン2017」に基づき、次のように、総合的、計画的に諸施策を推進してまいります。

計画の目標

「人が学び、人が生き、人が育つ佐伯の教育」の創造

7つの柱と施策の体系

【基本目標Ⅰ】	「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進
施策1	確かな学力の育成
施策2	豊かな心の育成
施策3	健やかな体の育成
施策4	特別支援教育の充実
施策5	生徒指導の充実
施策6	幼児教育の充実
施策7	教育の国際化・情報化の推進
【基本目標Ⅱ】	信頼と協働による学校づくりの推進
施策1	豊かな教育環境の整備
施策2	教職員の意識改革と資質能力の向上
施策3	地域とともにある学校づくりの推進
施策4	安全・安心な学校づくりの推進
施策5	地域に根ざした豊かな学校給食の推進
【基本目標Ⅲ】	社会教育の充実と、子ども・若者の豊かな心の育成
施策1	学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用
施策2	情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供
施策3	「地域協育」・「地域協働」の推進
施策4	子ども・若者に生きる喜びを伝える
【基本目標Ⅳ】	人権を尊重するまちづくりの推進
施策1	学校における人権教育の充実
施策2	地域における人権教育の推進
【基本目標Ⅴ】	市民文化の創造と文化財・伝統文化の保存・継承と活用
施策2	文化財・伝統文化の保存・継承と活用

【基本目標Ⅵ】	健康で心豊かな活気あふれるスポーツの振興
施策 1	生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用
施策 2	競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

【基本目標Ⅶ】	市民に開かれた教育行政の推進
施策 1	教育委員会及び事務局の機能充実

I 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校教育課

【施策】

- 施策1 確かな学力の育成
- 施策2 豊かな心の育成
- 施策3 健やかな体の育成
- 施策4 特別支援教育の充実
- 施策5 生徒指導の充実
- 施策6 幼児教育の充実
- 施策7 教育の国際化・情報化の推進

【令和4年度重点事業】

1 確かな学力の育成

- (1) 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学ぶ意欲」を育成する「わかる授業」の創造
 - ◎「付きたい力を意識した密度の濃い授業」の実現に向けた単元構想に基づく授業改善
 - ・指導事項の定着までを意識した「新大分スタンダード」に基づく授業の質の向上。
 - ・『付きたい資質・能力、評価規準を明確にした授業』、『「情報の取り出し」を意識した授業』、『必然性をもったペア・グループ活動』の実施による授業力の向上。
 - 佐伯市学力向上実践研究事業に係る研究指定校、佐伯市学校教育研究会教科部会と連携した研究の推進
 - ・研究指定校の指定（佐伯小・佐伯東小・渡町台小・上堅田小・佐伯城南中）と指導支援。
 - 「ふるさと創生」を核とした総合的な学習の時間の充実
 - ・学校を核としたふるさと創生「構想図」に基づく各小・中学校の年間指導計画に基づく生活科・総合的な学習の時間の取組の充実。
- (2) 家庭と協働した家庭学習の充実
 - ◎学んだことを定着・習熟につなぐ指導と家庭学習の連動
 - ・授業とのつながりを意識した意図的・計画的な家庭学習。

2 豊かな心の育成

- (1) 道徳教育の充実
 - ◎道徳科の授業を要とした、道徳性を養う道徳教育の充実

<ul style="list-style-type: none"> ・ 道徳教育推進教師を中心とした年間指導計画に基づく道徳性（道徳的判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度）を育成する道徳教育の充実。 <p>(2) 豊かな体験活動の推進・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実感を伴った、豊かな体験活動の推進・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手を思いやることの大切さを実感できる福祉体験活動の推進。 ・ 生命の尊さを実感できる自然体験活動の推進。 <p>(3) 読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校図書館を活用した授業実践の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館司書補の配置による学校図書館の充実と授業での活用。 <p>(4) 勤労観・職業観の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関や地元企業等と連携した職場体験学習や職場見学の充実。
<h3>3 健やかな体の育成</h3>
<p>(1) 健康教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ フッ化物洗口の実施による歯と口腔の健康づくりの推進・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全幼稚園、小・中学校におけるフッ化物洗口の実施継続。 <p>(2) 望ましい食習慣の形成を図る食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養教諭等の専門性を活かした食育の充実と生活習慣の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各小・中学校の「食に関する指導」の全体計画、年間指導計画に基づいた栄養教諭等の活用を含めた計画的な実践と生活習慣の改善に向けた取組の推進。 <p>(3) 学校体育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 課題解決に向けた「一校一実践」による運動の日常化、習慣化と体力の維持・向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 体力運動能力調査や各小・中学校の課題分析に基づく「一校一実践」の工夫。 ○ 運動の習得効果を高めるためのコーディネーショントレーニングの活用推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導員派遣事業及び体育専科教員を活用したコーディネーショントレーニングの実施
<h3>4 特別支援教育の充実</h3>
<p>(1) 「佐伯市子ども特別支援ネットワーク」による個別支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育支援員（38名）の資質・能力の向上 ・ 職務内容や支援の必要な児童生徒への支援の在り方、実践発表等、年間3回の研修をとおした資質・能力の向上。 <p>(2) 佐伯市就学支援委員会による適切な就学支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒・保護者の願いを尊重した適切な就学支援の実施

- ・特別な教育的支援を要する児童生徒及びその保護者への適切な就学情報の提供と、就学相談の実施。

(3) 合理的配慮・ユニバーサルデザインの普及

- 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成・活用による支援・指導の充実
 - ・児童生徒の障がいや困りの状態に応じた計画的・継続的な支援と指導。
- 合理的配慮・ユニバーサルデザインに基づく環境整備
 - ・基礎的な学習・生活環境整備の充実。

5 生徒指導の充実

(1) 自己指導能力の育成

- ◎生徒指導の3機能(自己決定の場、自己存在感を与える場、共感的人間関係を育む場の設定)を意識した教育活動による自己肯定感の向上と積極的生徒指導による自己指導能力の育成
 - ・生徒指導の3機能(自己決定の場、自己存在感を与える場、共感的人間関係を育む場の設定)を意識した各教科、特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の改善。

(2) 不登校児童生徒への対応

- ◎教育相談コーディネーターを中心とした各学校の教育相談体制の確立と関係機関との連携強化。
- 人間関係力を育成するための、短時間で継続的に行う「人間関係づくり」プログラムの充実。

(3) いじめ解消に向けた取組の推進

- 「いじめ見逃しゼロ」を目指した、いじめの早期認知、組織的対応の徹底
 - ・毎月のいじめアンケートの実施や対応報告書の作成
- 生徒指導・学級経営の実態把握のためのQ-U調査等の有効活用
 - ・年2回のQ-U調査の実施と結果分析による実態把握及び改善方策の検討
- 子どものために大人がつながる「さいきドリーム・プロジェクト」会議の取組の周知・拡大
 - ・「Neo 9 to 7ルール(ネオ・ナイン・トゥ・セブン・ルール)の取組の推進。

(4) 教育支援センターの機能充実

- いじめ対策・不登校支援・貧困対策における関係機関と連携した相談機能の充実
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの各小・中学校配置と相談支援体制の充実。
 - ・教育支援センター教室「グリーンプラザ」からの積極的な情報発信による

周知と連携強化。

6 幼児教育の充実

(1) 幼稚園教育の充実

◎幼稚園教育要領の確実な実施

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた教育課程の編成と実施及び適切な評価・改善。

○「佐伯市立幼稚園教育指導方針」に基づく保育の質の向上

○「アプローチカリキュラム」「個別の指導計画」等の作成と活用による幼小接続の推進

- ・入学までに付けたい力を見据えた「アプローチカリキュラム」の作成・活用と支援を要する子どもの困りや障がいの状態に応じた「個別の指導計画」の作成による計画・系統的な指導。

(2) 幼稚園と保育所・認定こども園及び小学校との連携の推進

○小学校・保育所・認定こども園等との交流の充実

- ・子どもの育ちをつなぐための、保育所・認定こども園等との情報共有の推進。

○幼稚園一時預かり事業の充実

- ・教育時間終了後の保育ニーズに対応した預かり保育の推進。
(渡町台幼稚園・鶴岡幼稚園・よのうづ幼稚園において実施)

(3) 「佐伯市立幼稚園及び保育所のあり方についての実施計画書」にもとづく幼児期の教育にふさわしい環境の整備。

7 教育の国際化・情報化の推進

(1) 外国語教育の充実

◎コミュニケーションを図る資質・能力の育成をめざす小・中学校外国語教育の連携・充実

- ・小学校中学年においては外国語に慣れ親しむことから始まり、小学校高学年、中学校においては外国語の4技能（聞く・話す・読む・書く）を発達段階に合わせてバランスよく身に付けるための授業の充実・改善。
- ・外国語能力の向上に取り組む中高生を支援する英語検定受検料の補助。
(希望する中高生に対して年1回)

(2) 国際理解教育の充実

○ALTの積極的な活用

- ・ALTの学校配置（6名）による派遣事業の充実。

(3) 情報教育の充実

◎1人1台端末を効果的に活用した授業実践と遠隔授業の充実（GIGAスクール構想の実現）

<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の ICT 機器活用能力の向上と授業における日常的な活用の推進。 ・遠隔教育システムによる授業についての実践と検証。 <p>○端末の持ち帰りによる家庭学習への活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒、家庭の実態に応じた端末の持ち帰り学習の日常化 <p>○家庭と協働した情報モラル教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における児童生徒及び保護者を対象とした情報モラル教育の充実。

【主な予算】

施策 1 確かな学力の育成

◆主要事業	予算額
○佐伯市学力向上実践研究事業 (さいき創生人材育成基金)	12,579 千円
○学校図書館活用推進事業 (教育総務費人事管理費・学校図書館司書補)	21,843 千円

施策 2 豊かな心の育成

◆主要事業	予算額
○学校図書館活用推進事業 (再掲)	21,843 千円

施策 3 健やかな体の育成

◆主要事業	予算額
○子どもの歯の健康づくり推進事業	4,605 千円

施策 4 特別支援教育の充実

◆主要事業	予算額
○子ども特別支援ネットワーク整備事業 (教育総務費人事管理費・特別支援教育支援員)	529 千円 85,377 千円

施策 5 生徒指導の充実

◆主要事業	予算額
○スクール・メンタルケア推進・充実事業 (さいき創生人材育成基金)	17,378 千円
○学校問題解決支援事業	1,906 千円

施策7 教育の国際化・情報化の推進

◆主要事業	予算額
○外国語指導助手派遣事業 (教育総務費人事管理費・外国語指導助手)	27,213 千円
○英語検定受検促進事業 (さいき創生人材育成基金)	3,500 千円

Ⅱ 信頼と協働による学校づくりの推進

学校教育課・教育総務課・体育保健課

【施策】

- 施策1 豊かな教育環境の整備
- 施策2 教職員の意識改革と資質能力の向上
- 施策3 地域とともにある学校づくりの推進
- 施策4 安全・安心な学校づくりの推進
- 施策5 地域に根ざした豊かな学校給食の推進

【令和4年度重点事業】

1 豊かな教育環境の整備

(1) 特色ある学校づくりの推進

- ◎佐伯市学校教育活動チャレンジ支援事業を核とした主体的な実践研究の推進
 - ・学校の課題を明確にし、具体的な目的や手立てをもって解決に向かう主体性をもった学校づくりを進める学校を支援する。
- 地域の「ひと・もの・こと」の活用と工夫。

(2) 小中一貫教育の推進

- ◎指導の系統性と円滑な接続を意識した小中一貫、小中連携の取組推進
 - ・小中教職員の連携による9年間を見通した一貫した学習指導・生徒指導の充実。
 - ・総合的な学習の時間など小・中9年間を見通した年間指導計画の作成・実践。

(3) 教育活動に専念できる教育環境づくりの推進

- ◎校務支援システムを活用した校務効率化の推進
- ◎「週3日の5時間授業」の実施に向けた調査研究の取組による、学びの充実と働き方改革の推進
 - ・学校現場における適正な勤務時間の管理と教職員の意識改革の推進。
 - ・業務改善の見直しの推進と専門スタッフ等の配置促進。
- 部活動の地域移行に向けた調査研究
 - ・佐伯市立幼稚園及び小・中学校教育問題検討協議会部活動地域移行部会での協議による今後の方針決定に向けた取組の推進

2 教職員の意識改革と資質能力の向上

(1) 「芯の通った学校組織」の構築

- ◎「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージに基づく取組の推進・充実

<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題の重点化と目標達成に向けた具体的・焦点化された取組指標の設定。 ○「チーム学校」、ミドル・アップダウン・マネジメント、運営委員会等の学校マネジメントの深化 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の各重点目標の達成を担う主任等の役割と責任の明確化。 ・教職員とスクールカウンセラー等の専門性を持つスタッフが互いに専門性を発揮できる体制整備。 (2) 教職員評価システムの円滑な実施 <ul style="list-style-type: none"> ○学校の教育目標と連動した教職員の目標設定と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の重点目標と自己目標の連動。 (3) 教職員研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○経験年数の浅い教員の育成に向けた、組織的な研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・経験年数の浅い教員に向けた授業づくり研修会の実施や授業力向上アドバイザーの活用による授業力の向上
<h3>3 地域とともにある学校づくりの推進</h3>
<ul style="list-style-type: none"> (1) 家庭・地域との協働による目標達成 <ul style="list-style-type: none"> ◎目標協働達成に向けた学校運営協議会の取組内容の質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域の主体的な取組に向けた熟議の推進。 (2) 学校評価システムの充実 <ul style="list-style-type: none"> ○学校評価を生かした教育活動の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標に基づく評価項目の設定と短期 PDCA サイクルによる進行管理。 (3) 学校公開等の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページの月 1 回以上の更新等による積極的な情報発信。 (4) 地域の教育力活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> ◎地域の「ひと・もの・こと」の活用による教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の教育活動全体を通じた地域の「ひと・もの・こと」の計画的活用。
<h3>4 安全・安心な学校づくりの推進</h3>
<ul style="list-style-type: none"> (1) 安全教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ◎自ら考え行動し、自他の命を守る実践的な防災教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・津波・大雨等を想定した学校防災計画の見直しと実践的な防災教育の推進。 ○学校防災計画及び危機管理マニュアルの継続的な見直しと地域と連携した防災訓練の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育、防災管理に関する計画の策定と実施及び見直し。 ・地域の防災士会等と連携した防災教育の推進。 (2) 安全・安心、快適な教育環境の整備推進

- ・学校敷地内の危険個所の調査及び改修工事
- ・学校のあり方検討委員会の方針を反映した全幼、小・中学校施設の長寿命化実施計画の策定

(3) 通学時の安全確保

- ・通学路安全対策会議の開催や現地合同点検の実施。
- ・青色パトロールの定期的な巡回を実施し、登下校時の見守り活動を推進。
- ・小・中学校スクールバスの安全な運行・管理。

5 地域に根ざした豊かな学校給食の推進

(1) 安全・安心な学校給食の推進

- ・食中毒予防や異物混入対策、「学校給食衛生管理基準」に基づいた施設・設備管理、調理・配送過程における衛生管理及び給食調理・配送等業務従事者に対する定期健康診断等並びに安全衛生管理等の研修を定期的実施することによる衛生及び健康の管理の徹底。
- ・学校や保護者と連携を密にし、「安全性」を最優先にした食物アレルギー事故防止の徹底。

(2) 食育の推進

- ・栄養バランスのとれた豊かな食事の提供。
- ・学校給食を「生きた教材」とした食育の充実。
- ・豊かな佐伯産食材の積極的な活用による地産地消の推進。

(3) 効率的な学校給食の運営

- ・児童手当申出徴収の活用による学校給食費未納分の収納率向上。
- ・給食センターの老朽化した設備の更新及び効率的な統合。
- ・学校給食費の公会計化に向けた準備。

【主な予算】

施策1 豊かな教育環境の整備

◆主要事業	予算額
○学校の教育活動チャレンジ支援事業	1,079 千円

施策2 教職員の意識改革と資質能力の向上

◆主要事業	予算額
○教職員研修充実事業 (教育総務課人事管理費・研修指導員)	2,309 千円

施策4 安全・安心な学校づくりの推進

◆主要事業	予算額
○幼・小・中学校施設維持管理事業 (上野小学校・4人用ブランコ修繕) (明治小学校すべり台設置工事)	2,885 千円
○幼・小・中学校施設整備事業 (佐伯小学校体育館屋根改修工事実施設計業務委託) (佐伯小学校自動火災報知設備改修工事) (米水津小学校法面及び擁壁改修工事) (宇目緑豊中学校校舎屋根改修工事実施設計業務委託)	26,622 千円
○小・中学校スクールバス運行事業 (スクールバス委託料・修繕料等)	82,135 千円

施策5 地域に根ざした豊かな学校給食の推進

◆主要事業	予算額
○学校給食センター統廃合事業 (給食配送車購入等)	13,621 千円
○学校給食調理場厨房機器改善事業 (剣崎学校給食センター)	7,623 千円
○学校給食調理場厨房機器改善事業 [R3 繰越] (剣崎学校給食センター 蒸気ボイラー1基)	7,150 千円
○学校給食調理場厨房機器改善事業 (コロナ対応) [R3 繰越] (剣崎学校給食センター 厨房機器 11 台等)	59,282 千円
○地場産品活用推進事業	4,149 千円

Ⅲ 社会教育の充実と、子ども・若者の豊かな心の育成

社会教育課

【施策】

- 施策1 学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用
- 施策2 情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供
- 施策3 「地域協育」・「地域協働」の推進
- 施策4 子ども・若者に生きる喜びを伝える

【令和4年度重点事業】

1 学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用

(1) 老朽化した施設の建替え及び長寿命化

- ・鶴見・米水津地区公民館の耐震補強工事によるコミュニティー拠点施設の長寿命化の推進。
- ・公民館分館の地区譲渡を進めるため、施設の改修を条件に受入の意向のある地区公民館分館の改修等による整備。
- ・老朽化して利用実績が少ない最勝海宿泊研修施設の用途変更や、鶴見・米水津にある陶芸工房館の統廃合を検討。

2 情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供

(1) 地域をリードする公民館づくり

- ・公民館・コミュニティーセンターを拠点として、多世代が「つどい、まなび、つながる」地域教育振興事業、コミュニティー活性化事業、女性学級の推進。

(2) 学びの支援と社会への発展

- ・公民館講座を推進するとともに、市民が自主的、自発的に学ぶサークルの育成や、学びの成果を発表する機会提供。

3 「地域協育」・「地域協働」の推進

(1) 家庭教育の推進

- ・就学前の児童・保護者を対象とした家庭教育講座「佐伯市子パンダプログラム」を市内全小学校区で実施。
- ・佐伯市家庭教育講師団「佐伯市子パンダ支援チーム」の増員を図るとともに、関係機関との連携、家庭教育講座プログラムの充実。

(2) 「協育」ネットワークの充実

- ・中学校区に配置した地域学校協働活動推進員を推進役として、「協育」ネットワークと学校運営協議会を両輪とした、学校と地域の双方向の協働活動の取組み推進。

4 子ども・若者に生きる喜びを伝える

- (1) 豊かな体験活動を推進
- ・恵まれた自然環境や豊富な人材を活用した「青少年交流体験事業」を実施し、たくましく生きる力やコミュニケーション能力などの情操教育の推進。
 - ・小学生チャレンジ教室を開催し、子どもたちの安全・安心な活動場所を確保、地域と学校が連携・協働した様々な体験・交流活動や学習の機会を提供。
- (2) こどもの読書活動の推進
- ・市立図書館、学校図書館、公民館図書室が連携し、読み聞かせ連絡協議会等の市民ボランティアと協力して、読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル等の各種読書活動の推進及び市民ボランティアや子ども司書の育成。
- (3) 佐伯っ子科学技術力育成事業
- ・著名な科学技術者・指導者を招き、講演会等を通じて佐伯市の豊かな資源の再認識と将来を担う児童や生徒に科学への興味関心を醸成。

【主な予算】

施策1 学ぶ意欲を支える社会教育施設の整備と活用

◆主要事業	予算額
公民館施設整備事業	75,130 千円
○地区公民館分館改修事業（丹賀分館屋根改修）	
○公民館施設耐震化事業（鶴見・米水津）	
○海人夏館施設改修事業	

施策2 情報化社会に対応し、力強く生きるための学習機会の提供

◆主要事業	予算額
○生涯学習の推進及び公民館活性化事業	13,011 千円

施策3 「地域協育」・「地域協働」の推進

◆主要事業	予算額
学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	
○家庭教育支援活動	978 千円
○地域学校協働活動	14,200 千円

施策4 子ども・若者に生きる喜びを伝える

◆主要事業	予算額
○小学生チャレンジ教室	4,729 千円
○佐伯っ子科学技術力育成事業 （さいき創生人材育成基金）	1,253 千円

IV 人権を尊重するまちづくりの推進

学校教育課・社会教育課

【施策】

施策1 学校における人権教育の充実

施策2 地域における人権教育の推進

【令和4年度重点事業】

1 学校における人権教育の充実

- (1) 児童生徒の人権に対する知識・感性・意欲・態度・技能の育成
 - 人権教育の日常化に向けた計画的・系統的な実践
 - ・全体構想と年間指導計画に基づく、教育活動全体を通じた人権教育の実践。
 - ◎「部落差別解消の推進に関する学校教育指導方針」（県・市）に基づく保護者・地域と連携した取組の推進
 - 人権問題8つの課題に関する教材を生かした授業づくり
 - ・〔第三次とりまとめ〕の趣旨を生かした授業の推進。
 - ・人権教育の視点を位置付けた体験的参加型授業の構築。
 - 支え合い、認め合う仲間づくりの推進
 - ・児童生徒間の信頼関係を構築する学習環境づくり。
 - ・一人一人が自己有用感を高める活動の充実。

2 地域における人権教育の推進

- (1) 各種学級での人権研修の充実
 - ・高齢者教室、女性学級、家庭教育講座、公民館活動等で人権啓発に関する講座、研修会の実施
- (2) 部落差別等の解消に向けた職員研修の強化
 - ・特定職業従事者として人権啓発を担う市職員に対し、人権学習講座やフィールドワークなどの部落差別等の解消に向けた研修の実施。
- (3) 学校とPTAが共催して実施する人権研修の支援
- (4) 人権関係団体等との連携による人権教育の推進
 - ・人権に関する様々な機関や団体等で構成する「佐伯市じんけん『協働』ネットワーク会議」を通じて、人権にかかわる活動や諸課題等についての情報交換を行い、連携を深めることで地域の人権教育を推進

【主な予算】

施策2 地域における人権教育の推進

◆主要事業	予算額
○人権教育推進事業	483 千円

V 市民文化の創造と文化財・伝統文化の保存・継承と活用

社会教育課

【施策】

施策2 文化財・伝統文化の保存・継承と活用

【令和4年度重点事業】

2	文化財・伝統文化の保存・継承と活用
<p>(1) 文化財・伝統文化の保存・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財・伝統文化を守り伝えるため、保存・継承を担う団体等への支援。 ・佐伯城跡の国指定史跡化に向けた取組。 ・文化財の保存及び活用に関する基本的な方針を定める文化財保存活用地域計画の策定。 <p>(2) 文化財・伝統文化への理解を深め、活用を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史文化を学ぶ講演会や講座、子どもを対象とした歴史体験教室などの開催による文化財・伝統文化に関する市民への普及啓発。 <p>(3) 歴史文化施設の活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化施設の活用を図るため、歴史資料の収集・調査研究の推進、企画展示及び講座等の充実。 ・市民との協働による運営を推進するため、市民サポーターを育成。 <p>(4) 市史編さん事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併20周年記念事業として市史編さんの取組を進めるため、編集委員会・専門部会等による資料の調査・執筆。 	

【主な予算】

施策2 文化財・伝統文化の保存・継承と活用

◆主要事業	予算額
○文化財保護対策事業	3,720千円
○遺跡群発掘調査事業	1,729千円
○歴史資料館管理事業	16,948千円
○歴史資料館運営事業	3,078千円
○佐伯文化会館解体事業	92,000千円
○文化財保存活用地域計画策定事業	4,170千円
○汲心亭管理事業	3,950千円
○平和祈念館管理事業	6,305千円
○国木田独歩館管理事業	2,002千円
○旧佐伯文化会館管理事業	9,273千円
○市史編さん事業	20,484千円

VI 健康で心豊かな活気あふれるスポーツの振興

体育保健課

【施策】

施策1 生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用

施策2 競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

【令和4年度重点事業】

1 生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用

(1) 市民が気軽に参加できる環境づくりの取組や各種スポーツ大会、教室等の開催

①SAIKI スポーツフェスティバルの開催

- ・大分県民体育大会予選等の部、広域交流促進大会の部、地区交流大会の部を計画。佐伯市スポーツ協会加盟団体（各種競技団体）がそれぞれの部の大会を計画し、競技人口の増加、スポーツに取り組む機会の創出を図る取組。

②SAIKI リレーマラソン大会の開催

- ・チームでタスキを繋ぐリレーマラソンを通じて、タスキだけでなく、家族・友達・職場・地域の仲間と「こころ」を繋げ、大会を通してスポーツの楽しさや喜びを体験。

(2) 体育施設の効率的・効果的な活用の促進

①体育施設の広域的な利用の促進

- ・市中心部と比較し、十分に利用されていない周辺部の体育施設を、各支部や地区のスポーツ大会・スポーツ少年団の各大会等を開催することで利用促進。

②佐伯市総合運動公園の有効活用

- ・指定管理者や文化・スポーツツーリズム推進課と連携し、各種大会や合宿・キャンプでの利用促進。

2 競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

(1) 競技団体の育成と組織強化

①大分県民体育大会への参加

- ・9月に久大ブロックを中心に開催される。2年連続、新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、前回の成績総合5位を上回る、上位入賞を目指す。

②県内一周大分合同駅伝競走大会への参加

- ・ 2月に開催される県内一周駅伝競走大会にて、A部キープ、上位入賞を目指す。(2年連続、新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、前回は総合5位(B部優勝)でA部へと振り返り咲き。)

③スポーツ振興奨励金事業

- ・ 九州大会や全国大会に出場する選手へ奨励金の交付を行う。

(2) 子どものスポーツ活動の支援

①サイキッズスポーツ体験教室の開催(さいき創生人材育成基金活用事業)

- ・ スポーツ少年団加入促進として、市内の小学2～3年生を対象に9種目、小学4～6年生を対象に4種目の体験教室を開催。いろいろなスポーツや運動体験を通じて子どもたちの運動習慣化や体力、運動能力の向上促進。

②指導員派遣事業の推進

- ・ 幼稚園、小学校への運動指導員派遣。運動に慣れ親しむ子どもの体力・運動能力向上を目的にコーディネーショントレーニング(神経系の運動能力を鍛えるトレーニング)を計画。

【主な予算】

施策1 生涯スポーツの推進とスポーツ施設の効果的な活用

◆主要事業	予算額
○地域スポーツ育成補助金	6,595千円
○地区対抗駅伝競走大会	354千円
○SAIKI スポーツフェスティバル補助金	2,100千円
○リレーマラソン大会補助金	240千円

施策2 競技スポーツの向上と子どものスポーツ機会の充実

◆主要事業	予算額
○佐伯っ子体力アップ事業 (さいき創生人材育成基金)	1,000千円
○県民体育大会	7,779千円
○県内一周駅伝大会	1,079千円
○スポーツ少年団補助金	800千円
○スポーツ振興奨励金	2,600千円

Ⅶ 市民に開かれた教育行政の推進

教育総務課

【施策】

施策1 教育委員会及び事務局の機能充実

【令和4年度重点事業】

1 教育委員会及び事務局の機能充実

- (1) 教育委員会の機能充実と公聴広報活動の充実
- ・教育委員会と学校現場等との意見交換を実施し、教育現場の実情把握や教育行政へのニーズを把握。
 - ・庁内公聴広報委員会を開催し、ホームページ、ケーブルテレビ等を活用した各課からの情報発信の充実。
 - ・教育委員会表彰等を通じて、教育功労者を積極的に顕彰。
- (2) 教育行政の執行体制の強化
- ・佐伯市長期総合計画「さいき“まなび”プラン2017」の中間改定版の作成。
 - ・市長部局との連携を図り、第2次佐伯市総合計画を着実に推進。
 - ・定期的に課長会議を開催するなど、教育委員会各課で連携。
 - ・重点施策の策定、事務事業の点検評価の実施及び結果公表。

【主な予算】

施策1 教育委員会及び事務局の機能充実

◆主要事業	予算額
○佐伯市長期総合計画「さいき“まなび”プラン2017」の中間改定版の作成（委員報酬・需用費等）	1,257千円